

## 2. 今回ご来場になった理由

- ・ うるしのことを知りたかった
- ・ うるしに興味がある。道具など現物がみたかった
- ・ 漆がどの様にして作成されまた使われているのか知りたかったから
- ・ 輪島、山中塗りに多少気があったから
- ・ 京都市の京仏壇、神奈川県鎌倉市の鎌倉彫り、全国いろいろな漆器を勉強しに工芸展に行った事がありますが漆の木について勉強するのは初めてだったので。
- ・ 「うるし」を「サイエンス」の目で見えた場合、細部を知りたい
- ・ ブータンの漆器に興味があったので、少し詳しく知りたいと思ったから
- ・ 3月下旬にブータンに行ったので、漆について興味をもちました。
- ・ ミャンマーに行ったおりにミャンマーの漆工芸品を見て日本の漆工芸品にも興味が出てきたので
- ・ 子供の頃田んぼのあぜに漆の木があって（夜久野町）うちは漆掻きをしていたと聞いていたので、この機会に是非聞いてみたいと思い。
- ・ 松谷茂先生のお話を聞きたかった
- ・ 北川さんのお話を聞きにきました

## 4. 3で○をつけた理由をお聞かせください。

- ・ 初心者にも大変分かりやすい内容でした
- ・ 知らないことがたくさんあり、劣化のことや海外の漆のこと、生物学的な見方がおもしろかったです
- ・ 塗料としての漆の話は聴く機会が多いが、植物学など多方面の話をまとめて聴ける機会は少なく、とても興味深かった
- ・ 加工手順、ブータンの漆の加工、竹筒ウルシ、ウルシ種の見分け方
- ・ 知りたかった情報を多く学ばせて頂きました
- ・ うるしを学ぶ良い機会だったから
- ・ ウルシに対して知識の幅が広がった。一回にとどまらず、今後もウルシの講座があればよい
- ・ 全体に漆について展示品とか講演内容、また一番最初の漆について採取法について大変くわしい解説で良くわかりました
- ・ 当初もっていた関心が深まりました。奥深い植物文化であることが理解できました

- ・ ウルシについて少し理解できたかな
- ・ 日本以外でもいろいろ使われているのと、少し違うものがあることを知りました。樹木としてのウルシの話が面白かった
- ・ ウルシを多角的に知ることが出来、おもしろかった
- ・ 漆についてはほとんど知識がなく、どれも興味深くて楽しい時間をもつことが出来ました。パワフルな北川先生のお話が特に面白かったです。ラックカイガラムシも見ましたが、とうめいなしづく、なめてみれば良かった。甘いのですね。
- ・ 講演が非常にエキサイティング、話術が上手いこともあるが、「ウルシ」文化をもっと広める必要があると感じた
- ・ 硬化反応過程を知りたかったが、酸素による硬化について、何となく納得→ $CxHx$  の側鎖の拳動についても興味がある

## 5. この行事の参加前と参加後で、漆についての印象はどのように変化しましたか？

- ・ 環境にやさしく、長年と受け継がれている自然ならではの美に対して好感を持つことができた
- ・ 漆や漆器は日本だけだと思っていたのですが、日本、韓国、中国だけでなくブータンなどのアジア、ヨーロッパにもあったのだと思いました
- ・ 漆ぬりのエレベーターの戸を見てみたい
- ・ 豊かになりました
- ・ これだけ優れた素材であるのになぜ小さな世界（工芸）にとどまっているのでしょうか？
- ・ 高価で取っつきにくいのが傷ですが、面白い
- ・ かぶれるので怖い木の印象が強かったが、講義を聞いて良い印象に変わりました
- ・ 漆工芸の素材についての理解が深まった
- ・ たくさんの種類があり、国によって違うのを知った
- ・ この優れた漆器硬化型の樹脂の機能性は永遠の謎です
- ・ 大体わかってきました
- ・ 展示、講演から、西洋にも同様のものがあるといったことには驚きました
- ・ もっと愛用しようと思う様になった
- ・ 一般の方、海外の（白人）方へ漆をオススメするのにとても抵抗があったので、積極的にオススメできるようになっていきたいと思います
- ・ ウルシの仲間が多く、工芸品に多く使われているのを知った
- ・ 漆が身近に感じられるようになりました
- ・ 漆器等をもっと利用したいと思った

- ・ 日常の器としての知識ぐらいでしたので、“自動車”“接着剤”・・・ハア・・・！！という感じです。目が開かれた気がします。器をどんどん使っていこうと思いました。
- ・ 漆ってもっと活用されるべきだ！と思いました。
- ・ 植物としてのウルシの生態を知る事が出来てよかった
- ・ ウルシにはいろいろな種類があることがわかった
- ・ 世界の漆についても興味をもつようになりました。ウルシの仲間、自分の目で観察してみたいです
- ・ 輸入が多いのに驚きました
- ・ 漆の世界が少し分かった気がします
- ・ 前後というわけではありませんが、世間的に（世界中で）漆＝カブレが一番情報として知られているのだなと実感しました。3人先生皆さん触れられて聞いている人の反応もアクティブです
- ・ ウルシの仲間についても興味がわいた
- ・ 植物あるいはその活用が世界的にひろさのあることを知った
- ・ 家にうるし食器、一閑張りの机などがたくさんある。大切にしたいと思った
- ・ ウルシ科の植物の多様さ、アジアの漆についてさらに興味が増した
- ・ 高級品で自分と関わることはないだろうと思っていたが、漆の良さや美しさを知ることができよかった。買えなくても漆の使用品を見たり使ったりして楽しんだり、今後の漆の動向に注目していきたい

## **6. その他、感想やご意見などを自由にお書き下さい**

- ・ ポスターがとてもよかった。日本にはこんなに長いうるしの歴史があり、すばらしい技術、文化があることがよくわかった
- ・ ウルシについてのこれからより深い研究が進められる事を期待しています
- ・ ウルシ科の仲間がよくわかった
- ・ 今回のイベントに参加して、漆に興味が出てきました。My 漆器を My おはしを共に持ち歩く日がいつか来るのか？来ればいいなと思いました
- ・ シロウトなのに参加させていただいて良いものかと思いつつ来てみましたが、どれも一般にもわかるように話していただけ良かったです。ありがとうございました。
- ・ 3つのちがったアプローチで漆のことがよくわかりました
- ・ 漆器のよさは良くわかるが、高いから・・・
- ・ 一層勉強する気概をもっていきたいと思いました。宜しくお願いします

- ・ 外国うるしの美しい品物を見せてもらい感動しました
- ・ 京都の漆作家など、芸術・工芸の世界の展開があるととってもよかった
- ・ 車がとても美しかった